

週刊

愛知民報

2023年
10月1日
第2651号

発行所 日本共産党愛知県委員会

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号

☎(052) 261-3461 (代表)

(052) 251-2925 (編集部) F A X (052) 261-6063

定価 月 400円 郵送料 336円 1部 100円

毎週日曜日発行 (第5日曜日は休刊)

稲沢市議選



稲沢市議選で複数議席獲得を決めバンサイする(前列左から3人目 服部としお、その右)そがへ博隆の両候補。9月25日未明、稲沢市

日本共産党

そがへ、服部両氏当選

複数議席回復

9月24日投票でおこなわれた稲沢市議会議員選挙(定数26、立候補30、投票率46.1%)で、日本共産党から立候補した、そがへ博隆候補(現)は1390票(21位)、服部としお候補(新)は1224票(24位)で、それぞれ当選。現有1から2議席になり、4年ぶりに複数議席を回復しました。

日本共産党の両氏の合計票2614票は、2022年参院選の比例3229票より615票の減でした。選挙戦は、「オール与

戦にもなりました。稲沢市での日本共産党の複数議席回復は、支配勢力から日本共産党への攻撃を押し返す力になり、予想される解散・総選挙での躍進への跳躍台になります。選挙結果が判明した9月25日未明、そがへ氏は「小学校の統廃合を絶対に阻止する。旧祖父江町・旧平和町地域の図書館や体育館を残したい」、服部氏は「学校給食無償化やコミュニティバスの充実強化といった、子育て応援と高齢者支援の政策を実現する」と公約実現に向けた決意を語りました。

小牧市政治戦 共産党 勝利へ全力

小牧市政をめぐる政治選は10月1日に市民の審判を迎えます。25の定数で7人が「オール与党」は「おがはみだす多数大激戦」。

対決構図は、市長言いなりの「オール与党」か、市民要求実現に尽力する日本共産党か。直近の市議会9月定例会では、市民から提出された「学校給食無料無償化、高齢者へのタクシー券配布、休業中の市民プール再開などの政策を語り、最後の追い込みをかけています。

小牧市には航空自衛隊小牧基地があり、「基地強硬化・司令部の地下化」などが計画されています。戦争反対を貫く日本共産党の勝利は、岸田大軍拡に反対し、小牧から平和の願いを全国に発信する力になります。

もとむら伸子衆院議員が応援に駆けつけました。

比例東海 いっせい宣伝もとむら、すやま両氏訴え

日本共産党の、もとむら伸子衆院議員、すやま初美党副委員長(ともに衆院比例東海ブロック予定候補)は9月25日、名古屋市中区の金山総合駅前で行った。日本共産党の政策を語り、比例での同党への支持を呼びかけました。県内各駅でも地方議員や党組織が宣伝しました。

第2次宣伝キャラバン

日本共産党愛知県委員会は、7日から11月26日まで「総選挙勝利!第2次全県宣伝キャラバン」を実施します。国会議員・予定候補を先頭に政策を語ります。



衆院比例東海ブロックいっせい宣伝で日本共産党への支持を呼びかける(左から)もとむら伸子衆院議員、すやま初美党副委員長。9月25日、名古屋市中区金山総合駅前